

心肺蘇生法の手順

一次救命処置とは、心臓や呼吸が止まってしまった人を助けるために心肺蘇生を行ったり、AEDを使ったりする緊急の処置のことを指します。また、食べ物などがのどに詰まって呼吸ができなくなった場合、そのまま放置すればやがては心臓も止まってしまう。そうならないように、のどに詰まった物(異物)を取り除くための方法(気道異物除去法)も一次救命処置に含まれます。

ここでは、一次救命処置のうち、心肺蘇生の方法とAEDの使用方法について、順を追って説明します。図aはこの大まかな流れを示しています。

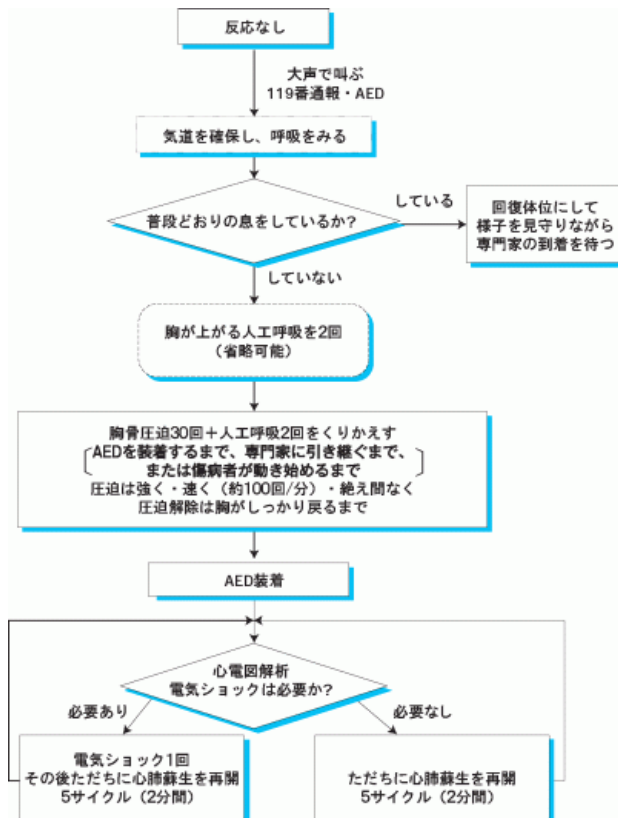
1. 反応を確認する

誰かが突然倒れるところを目撃したり、倒れているところを発見した場合は、その人(傷病者)の反応を確認します。ただし、傷病者に近寄る前に周囲を見渡して安全であることを確認する必要があります。車の往来がある、室内に煙がたちこめているなどの状況があれば、それぞれに応じて安全を確保するようにしましょう。

安全が確認できたら、傷病者の肩をやさしく叩きながら大声で呼びかけます(図b)。目を開ける、なんらかの返答がある、または目的をもった仕草があるなどが認められない場合は「反応なし」です。突然の心停止が起こった直後には引きつような動き(けいれん)が起こることもあります。これらは「目的をもった仕草」とはいえませんが、引きつような動きだけしか見られない場合も「反応なし」として対応しなければなりません。



図b 反応を確かめる



図a 主に市民が行う一次救命処置の手順